

整骨院で行うティラーメイドの予防医療

遺伝子栄養学に基づく患者さんの健康管理サービス

東京都港区に本社をおく株式会社ヘルスケア アンド ビューティパートナー (H&BP) は「遺伝子栄養学」をベースにした一人ひとりにあった食生活の改善提案を提供している。毎日摂るだけに健康維持に大きく影響する食事に着目し遺伝子検査による遺伝的特徴を踏まえたティラーメイドの予防・健康指導はいま各方面から注目される予防医療サービスだ。H&BP の提供する予防医療サービスについて整骨院での提供の可能性を含めて同社代表取締役の宮元正明社長にお話を伺った。



宮元 正明 -Masaaki Miyamoto-

1966年大阪生まれ。山一証券株式会社、メリルリンチ日本証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社と国内外の大手証券会社で活躍。数々の賞を受賞。
＜起業の際に心に誓った3つの信条＞
①社会的意義のある仕事をする事で日本の国力維持に貢献する
②資本主義が続き、かつ株式会社の形態をとる限りにおいては、ベンチャー企業でも勝てるビジネスモデルを創造する
③両親に正々堂々といえるビジネスをする
20年間証券業界に携わってきたが、あるプロジェクトで「日本は欧米に比べて予防医療の概念が大幅に遅れている」ことを知り、予防医療が今後の「日本の国力維持」に貢献できると確信。病気を未然に防ぐことがいかに重要かを「食育」を通じて国民に啓蒙していこうと心に決め、2007年5月に株式会社ヘルスケア&ビューティパートナーを設立。「遺伝子栄養学」をもとに予防医療分野の拡大を目指している。

「宮元社長が遺伝子栄養学という分野でビジネスを起こしたきっかけを教えてくださいませんか？」
「以前証券会社に務めていたときに、当時世界3位だった米国のサプリメント小売専門店のM&Aに携わったのですが、その時に仕事の 일환として予防医療や健康産業に関する様々な調査を行いました。その際、欧米とは異なり、日本には健康食品に分類されるサプリメント産業のデータはありましたが、予防医療に関するデータがほとんどなくて四苦八苦したんです。結論として、日本には予防医療産業がなかったんですね。なぜ日本には予防医療産業がないのかということに私は強い関心を持ちました。ここからは仕事を離れていろいろ調べていくうちに、「予防医療分野で産業を興そう」と考えたのでした。」

「「遺伝子栄養学」というテーマに行き着いた経緯をお話いただけますか？」
「予防医療のことをいろいろと調べているうちに、2003年に「ヒトゲノム解析」といってヒトの遺伝子の全ての解析が終了したというニュースが発表されました。この世界的プロジェクトには10年以上の歳月と1千億円以上の資金が注ぎ込まれているのですが、これによって一人ひとりにあったティラーメイドの医療が提供される可能性があるということ、長期的にみても我々の健康にとって革命的なインパクトがあると考えたのです。遺伝子をベースにしてティラーメイドな予防医療サービスを提供できれば、これは消

費者にとって間違いなく喜ばれると考えて、現在のビジネススキームを作り直しました。」
「どのようなビジネススキームなのでしょう？」
「我々がベースを置く「ニュートリショナル・ゲノミクス(Nutritional Genomics)」には実はまだ決まった日本語がないのですが、我々は「遺伝子栄養学」と呼んでいます。我々のビジネスは栄養学をメインにしているんです。健康を維持するためには食事、運動を中心とするライフスタイルが基本となります。特に食事は毎日摂りますからとても大きな影響を及ぼします。そこで、この食事スタイルを一人ひとりにあった健康的なものに改善してあげ、習慣として実践できるものにしよというのが我々の基本的な考え方です。そして遺伝子検査を組み合わせることで、食生活の提案を一人ひとりにあったものにするというわけです。ダイエットを例にとれば、日本人の肥満に関しては例えども3つの遺伝子が関係していて、それぞれどの遺伝子に変異があるか、つまりどのような遺伝的特徴があるのかを調べることで、何を食べると太りやすいのかなどの先天的傾向が分かるんです。その傾向を踏まえ、その方のライフスタイルや嗜好に合わせて、無理なくできる範囲の改善提案を行い、必要に応じて不足しがちなサプリメントも提供する、というのが基本的なスキームになります。」

「なるほど、一人ひとりの遺伝的傾向を踏まえて、ライフスタイルに

あった食事提案をメインとする健康管理をお手伝いするサービスということですね。実際のサービス・フローはどのように行われているのでしょうか？」

「どの遺伝子を調べるかによっていくつかのプランがあるのですが、ユーザーの多いダイエットでお話すると、まず綿棒で口腔粘膜を取ってもらいます。これは1分もかかりません。そして3日分の食事記録を作ってもらい、生活習慣などを伺うカウンセリングシートにご記入いただけます。これらは10分から15分くらいでできるでしょう。これらの検査キットを弊社に送っていただく約3週間から1ヶ月で遺伝子検査の報告書と、ダイエットプランの提案書、それにサプリメントの提案書をセットにしたアドバイスブックをお届けします。通常はこのアドバイスブックに基づいて管理栄養士である弊社コンサルタントからユーザーさんに直接ご提案させていただきますが、クリニックなどでは先生方がコンサルタントに代わってご提案いただくことも可能です。」

「H&BPさんはこのサービスをどこで提供されているのでしょうか？また利用者はどのような方が多いのでしょうか？」

「我々は2007年に創業したのですが、最初は企業経営者の方々にご利用いただきました。お金をかけた広告宣伝はこれまで一度もやっていないのですが、おかげさまで企業経営者間の口コミで広がりました。マスコミの取材もたくさんいただきました。その後フィットネス業界や工

ステ業界で大手を中心にサービスコンテンツとして提供したいとお声かけいただき、現在13社と提携しています。面白いところは結婚相談所でも提供されていますよ。」
「結婚相談所はユニークですね。」
「そうですね。遺伝子栄養学を取り入れると外見的な美しさはもちろん、体の内側からきれいになれるということなんですね。利用者層でいうと、年齢は20歳から80歳くらいまで、男女比もあまり偏りがなく幅広い方々にご利用いただいています。当初は糖尿病や高脂血症などの疾病予防プランが先行したもので、40代、60代で元気だけど軽度な疾病が出始めた程度の、初期の生活習慣病予防が必要な方がターゲットというイメージだったんですが、実際はセグメントが特定できないくらい様々なユーザーさんがいらっしゃるんですよ。」
「なるほど。それだけ食事、あるいは栄養というものが多くの人にとって改善の余地や必要性があって、予防という観点で潜在的なニーズが存在するということなのでしょうね。」
「そうですね。我々には予防医療の重要性を信じて、これを本気で産業界として構築していくんだという強い思いがありまして、単なるお金儲けではなく、良質な予防医療サービスを提供することを本気で考えてくれる、想いを共有できるパートナーであれば提携先の業態にはこだわっていません。良質な予防医療サービスというのは結果が重要だと考えてい

ますので、我々は結果を出すことに本当に一生懸命なんです。コンサルタントは全員国家資格の管理栄養士で、手前味噌ですが平均28歳の彼女たちは本当に素直で熱心に働いてくれます。前職では医療現場で入院を繰り返す患者さんを診てきた者もたくさんいますから、予防に対してすごく真剣に考えている社員ばかりです。また遺伝子栄養学も日々進歩していますから、我々は主要な遺伝子学会に加盟するのにももちろん、東京大学との共同研究も行って最先端の学術的要素を取り入れていきます。サプリメントは産地を明示した厳選素材だけを用い、CMでお馴染みの「毎日骨太」を開発した高田博士の指示のもと、体に最も効率的に吸収されるように配合されたものを提供しています。これらの充実したサポート体制の全てをもつて提携パートナーと結果を出せるサービスを作っていきたいと考えています。」
「なるほど、提携先の業態ではなく、予防医療に取り組む姿勢が大切ということですね。整骨院が患者さんの予防について本気で取り組むたいと考えているとしたら、遺伝子栄養学の可能性についてはどのようにお考えですか？」

「整骨院と遺伝子栄養学の相性は間違いなくいいと思います。骨や筋肉と栄養というのは、とても密接に関係していますね。遺伝的特徴として筋肉が付きにくい人もいますし、骨粗しょう症にも遺伝子は深く関係しています。過剰な体重によって膝が痛いという人も少なくないのでは？整骨院に来られる患者さんが、自分にあつた予防法を理解して、それを先生方と我々がサポートできれば患者さんの満足度も上がって、メンテナンス、つまり予防の為に継続来院する仕組みが作れると思います。患者さんが女性であれば、その方のお子さんや家族の食事まで改善できるという波及効果もありますよ。」
「本当に相性抜群ですね！そうやってメンテナンスできるユーザーが200〜300人もいればすごい整骨院ですよ。口コミで新患さんが後を絶たないという状態かもしれませんね。」
「そうですね。そういうお手伝いをさせていただきたいですね。遺伝子をベースとした健康・医療産業はこれから拡大していくと思います。2010年の7月には科学技術庁、文部科学省、厚生労働省、そして内閣府が「ヒトゲノム・コホート」といって、10万人の国民の遺伝子を調べて2020年まで健康状態を追跡調査するという計画を発表しています。経済産業省も医療・健康産業の育成戦略に関するレポートを出すなど、国もいよいよ予防医療産業の育成を国家戦略として位置づけたのです。その意味では、2010年は「予防医療元年」といえるかもしれません。」

「そうですね。そんな追い風が吹く中、宮元社長はどんな夢を描いていらっしゃるのでしょうか？」
「将来的には遺伝子栄養学で予防医療産業のプラットフォームをつくり、国家戦略としてアジアに広めたいと、僕は本気で考えています。い

お知らせ
株式会社ヘルスケア&ビューティパートナー(株)は、H&BP提供の「ダイエットプラン」をジャパン柔道整復師会のサービスとしてご提供できるようH&BPと業務提携しました。
詳しくは、下記までお問い合わせください。
0120-143-271
担当：開発事業部 木下